

標 題	“ガラパゴス化を吹き飛ばせ!” 邑智郡農業士会・郡内青年農業者・矢上高校・郡内就農予定者と浜田地方農業士会との交流研修会を開催=「視察編」=
-----	--

(ダイジェスト)

12月5日に、邑智郡農業士会主催による標記の交流研修会を開催しました。午前には矢上高校生も参加し、郡外の先進農業者のほ場や経営に対する考え方などを見聞することで、普段の授業では得られない「農業経営の実際」を学習することができました。

邑智郡農業士会（会長：月山正幸氏、会員：6名）では、新型コロナ禍で活動が停滞していましたが、このたび他地域の農業士会との交流研修会を3年ぶりに開催しました。

本研修会の開催にあっては、①参加者同士が知り合いになることで今後の繋がりを持てる、②同じモノを見聞することで意見（議論）を交わすことができることを目的に企画し、午前には浜田市内の先進農家の視察を、午後には浜田地方農業士会と邑智郡農業士会との交流会を行いました。

参加者は、邑智郡農業士会会員、郡内の青年農業者・農業研修生、関係機関の担当者の他、午前の視察には矢上高校産業技術科植物コースの2年生13名と教員2名も参加し、世代を超えた研修会となりました。

午前の「視察編」では、浜田市内の農業拠点団地内で営農する「花き経営者」と「ぶどう経営者」を訪ねましたが、生徒たちは花き経営者の「多様な品目・品種を従業員と一緒に栽培しつつ、品目の転換を同時並行で進めている」話を、ぶどう経営者の「色着きを良くする苦労や房管理の苦労」話を熱心に聞いていました。

また、質問ではストレートに「儲かりますか?」と聞いたり、視察終了後も質問したりするなど、農業経営に大いに関心を寄せる生徒もいました。

邑智郡農業士会では、今回を機に矢上高校との交流を深めることとし、視察や農業研修の受け入れを具体化していく予定です。

当農業部では、今後も邑智郡農業士会と連携を取りながら、「農業後継者の確保・育成」を主眼とした青年農業者・農業研修生、高校生・農林大学校生等との交流機会を作っていくとともに、他地域の農業や農業者とも触れ合える機会も提供することで、“ガラパゴス化”しないよう、広い視野を持った次世代を育成していきたいと考えます。

※ガラパゴス化＝「孤立した環境で」独自に発達した物事」「独自進化のため競争力を失った（失いつつある）物事」



【花き経営者ハウスの視察風景】



【ぶどう経営者ハウスの視察風景】